



# 学校だより

12月号

平成28年12月1日  
横浜市立善部小学校  
校長 小澤 紀子



## 縦と横の連携

学校長 小澤 紀子

先日は思いもかけずに初雪にみまわれ、子どもたちは大喜でした。11月の積雪は観測史上初とのことで、ホワイトクリスマスもなかなか経験のない中、1ヶ月も早い積雪に異常気象という言葉が頭をよぎりました。窓から見えるまだ緑深い森と紅葉した桜の木々に白い雪という、普段とは全く違う景色にしばしば見とれてしまいました。いきなり真冬の寒さでしたが、子どもたちは元気いっぱいです。ふとのぞいた1年生の教室で朝、先生が声をかけていました。

「雪が降っているけど、学校に来るときに、ぬれてしまった人いませんか？大丈夫でしたか？」

「ランドセルがぬれちゃいました。」

「そうね。冷たかったね。みなさんはぬれませんでしたか？靴下とか大丈夫？」

「大丈夫！ちゃんとかさを守ってくれたから～。」

自分よりランドセルが濡れたと話す子。かさに守ってもらったから大丈夫という子。なんともあたたかい会話でした。

入学して8ヶ月の子どもたち。先日は善部保育園のお友達を招待してどんぐり祭りを行いました。自分たちが考えたどんぐりを使ったお店を開き、保育園の子にやさしく丁寧に接し楽しんでもらいました。どんぐりごまやアクセサリー、ゲームやくじびき。楽しいお店がたくさん並んでいました。はじめの会や終わりの会は実行委員の子が自分たちで進行していて、その成長ぶりにびっくりです。1年生が保育園に行き活動することもあり、幼保小の連携を行っています。

さて、前述の初雪の日。校庭に雪が残ることを心配しましたが、水はけがよい校庭のおかげで、次の日の5年生の親善球技大会は無事予定通り行うことができました。

旭区親善球技大会は今年で48回目を迎えました。善部小は創立38年ですから、本校創立以前から続いている行事です。練習を通して球技の楽しさを味わうこと、めあてに向かって努力すること、そしてスポーツを通して他校との交流を図ることをねらいとしています。夏に行われた親善水泳大会も同じ主旨で行われています。球技大会では希望ヶ丘小学校と水泳大会は希望ヶ丘小学校・さちが丘小学校と交流を深めました。

希望によりサッカーとバスケットボールに分かれてチームを編成しました。練習の時から、互いを励まし合う元気な声が聞こえてきました。時には白熱して激しくぶつかることもあったかもしれませんが。当日は1試合5分・11分と短い時間ですが、練習の成果を発揮しようと全力で試合を行っていました。友だちの試合を大声で応援しました。「希望小には友だちがたくさんいる。」と言って手を振っている子もいました。幼稚園や習い事で一緒の子がいるようです。時にはライバル・時には仲間。そしてまた、中学校で再び出会う子もいることなのでしょう。こちらも開閉会式を自分たちでりっぱに司会・進行しました。「球技大会を通して、ただ試合に勝つだけでなく普段交流のない希望ヶ丘小学校のみなさんと仲良くなることをめあてにしてきました。本気でぶつかったり、思いきり応援したりして、お互いをたたえ合うことが球技大会の本当のよさだと思いました。」閉会の言葉の中にこんな素敵な思いがありました。

6年生は南希望ヶ丘中学校と部活動体験で交流しました。善部小と希望小と南希中の3会場に分かれて部活動を体験しました。中学生のきびきびした動きの中で楽しく過ごす経験は、中学校生活や部活動への期待につながってくれることを望んでいます。

幼稚園・保育園・小学校・中学校。縦と横の連携を図り、様々な活動に取り組んでいます。交流の輪を広げ、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校への接続期の不安解消の一助となれるよう努めてまいります。今年も残すところあと1月です。変わらぬご支援をお願いいたします。